中国贸促会专利商标事务所
CCPIT PATENT & TRADEMARK LAW OFFICE

第8号
（全114号）
2024年8月29日

—中国知的財産権—

ニュースレター



CATALOGUE

目次

知財ニュース

2 最高裁判所 2024年上半期知的財産権案件裁判の主要データを発表

3 外国出願人の中国における有効特許件数と有効登録商標件数が安定的に増加

4 中国保有の5G標準必須特許の宣言数が世界全体の42%を占める

5 中国 重点分野の専利産業化プロジェクトを実施

6 中国 建設中及び完成した国家知的財産権保護センターは全国で73ヵ所

AI・IoT関連情報

7 業界が医療分野のAI大規模モデルの応用に注目 医療診断分野のイノベーションを推進

8 中国のAI有効特許件数が前年同期比40%超増

9 スマート工場にヒューマノイドロボットの新入「社員」

最高裁判所　2024年上半期知的財産権案件裁判の主要データを発表

＊（タイトルをクリックするとリンクが表示されます、以下同じ）

先頃、中国最高裁判所が2024年上半期の知的財産権案件裁判の主要データを発表した。科学技術イノベーションの保障と公平な市場競争環境の維持への裁判所のサービスがますます強化され、知的財産権司法サービスの質の高い発展効果がさらに顕著になっている。知的財産権一審案件の受理数は同期比1.17%増の24万1000件で、内訳は、刑事案件が同期比44.02%増の4273件、民事案件が同期比0.81%増の22万6000件、行政案件が同期比2.94%減の1万1000件であった。法による積極的な職務の遂行が堅持され、調停やその他の手段によって実質的に解決される知的財産権紛争が増え、多様化した紛争解決メカニズムが日々改善されており、知的財産権民事一審案件の調停・取下げの割合は全体の74.45%を占め、同期比4.84ポイント増加した。

外国出願人の中国における有効特許件数と有効登録商標件数が安定的に増加

7月29日、中国国務院新聞弁公室（State Council Information Office of the People's Republic of China）が「高品質発展の促進」と題する記者会見を開き、知的財産権分野の発展状況を紹介した。データによると、今年6月末現在における外国出願人の中国での有効特許件数と有効登録商標件数はそれぞれ91万9000件と213万5000件に達し、着実な増加を維持している。これは外資企業が中国市場を重要視し、中国の知的財産権保護に信頼を寄せていることを示すものである。また、中国国家知識産権局は個人や企業への知的財産権サービスの利便性を全面的に向上させ、知的財産権審査の品質と効率の向上を継続しており、特許出願の平均審査期間は15.7ヵ月に短縮され、商標登録出願の平均審査期間は4ヵ月に安定している。

中国保有の5G標準必須特許の宣言数が世界全体の42%を占める

中国工業情報化部の情報によると、現在、中国保有の5G標準必須特許の宣言数は世界全体の42%を占め、5G基地局と5G対応スマホのグローバル市場占有率は50%を上回っている。

近年、中国は移動通信のイノベーションと発展を着実に推進し、革新的で活発な産業応用アプリケーション・エコシステムを構築し、情報通信産業の発展は質が高く、著しい成果を上げている。現在、中国は383万7000基の5G基地局の設置を完成し、「県レベル間の相互5G接続」を実現しており、5Gユーザー普及率は全体の60%を超えている（注：中国の行政級別は国、省、市、県、郷に分かれています）。総合的なコンピューティング能力の規模は世界トップクラスである。5Gの産業応用は74の国民経済主要カテゴリーに融合され、3万の5G産業バーチャルプライベートネットワークと300の「5G工場」が構築され、「5G+インダストリアル・インターネット」プロジェクトが1万3000件を超えている。

今後、中国は「建設、活用、研究」を統括的に推進し、情報通信産業の質の高い発展を加速させ、5Gやギガビット光伝送ネットワークの構築を着実に進め、5Gネットワークの5G軽量化と5G-Aへのアップグレードを秩序立てて進め、コンピューティングパワー産業の発展を着実に進める。応用と融合を深化させ、「デュアル・ギガビット」ネットワークとその応用化の政策を検討、発表し、「5G工場」の建設を加速させ、「5G+インダストリアル・インターネット」のアップグレードバージョンを開発する。技術の研究開発を強化し、5G-Aへのアップグレードと6Gの研究開発・革新を統括的に推進し、科学技術革新の牽引による、最先端の製造業を柱とした現代産業システムを構築する。

中国　重点分野の専利産業化プロジェクトを実施

先頃、新たな質の生産力の発展を加速させるため、中国国家知識産権局が教育部、科学技術部などの部門と共同で『重点産業の知的財産権分野のチェーン強化・効率向上に関する若干の措置』（以下、『若干の措置』という）を公布した。『若干の措置』によると、今後、中国は重点分野の専利産業化プロジェクトを実施する。

紹介によると、近年中国の基幹技術は突破し続け、多くの分野で「追走」、「並走」から「先頭」へと躍り出た。国際協力と国際的な競争に参加する企業や製品が増え、産業チェーンにおける専利のチェーン強化・効率向上効果を強化することで、重点産業の迅速かつ健全な発展をサポートし、ハイテク企業のイノベーションと発展に新たな原動力を提供することが切実に必要とされている。

『若干の措置』は知的財産権の質の高いイノベーションを強化し、重点産業の競争力を向上させるとしている。様々なイノベーション主体やプラットフォームの役割を十分に発揮させ、基礎専利と高価値専利の組み合わせを育成し、多様な審査モデルを総合的に適用して、重要コア技術分野の知的財産権創出と蓄積を強化する。

専利の産業化を加速させるには、大学と研究機関の既存専利を活用して、転化可能な専利リソースについて詳細に分析し、正確にマッチングして、多様なオンライン・オフラインのドッキング手段を総合的に利用し、既存専利の重点産業での活用を加速させる。また、各種プラットフォームを十分に活用して、重点分野の専利産業化プロジェクトを実施し、専利産業化促進メカニズムを改善、完備化させ、オープンソースライセンスなどのオープンイノベーションと新たな知的財産権活用モデルを模索し、専利集約型製品と科学技術革新に支えられた有名商標ブランドの育成を加速させる。

中国　建設中及び完成した国家知的財産権保護センターは全国で73ヵ所

中国国家知識産権局によると、建設中又は完成した国家知的財産権保護センターが中国全土で73ヵ所に達した。全国28省（自治区・直轄市）に分布し、うち海南省には2ヵ所ある。

国家知識産権局の関係責任者によると、このほど、海口市の国家知的財産権保護センターの設立が同局に承認され、今後機械設備製造業とバイオ医薬産業の知的財産権保護について迅速な連携業務を行う。

海口市には機械設備製造業とバイオ医薬産業の関係科学研究機関やハイテク企業が続々と集まっており、規模以上企業が海南省全体の60%以上を占める。この二つの産業は強力な勢いで発展しており、2023年の生産額の合計は400億元を超えている。（注:「規模以上企業」とは、一定の規模基準を満たす企業を指します。中国では、通常、年間営業収入や生産規模が一定の基準を超える企業を指します。例えば、工業企業では、年間の主な営業収入が2000万元以上の企業が「規模以上企業」に分類されます。）

「海口市に国家知識産権保護センターを設立することは、海口市の特色ある産業の国内外競争力の向上、海南省の高水準の対外開放の強化をより良くサポートし、新たな質の生産力を発展させるための良好な国際環境の整備にも役立つことである」と国家知識産権局の関係責任者は紹介している。

業界が医療分野のAI大規模モデルの応用に注目 医療診断分野のイノベーションを推進

医療分野において、優れたデータ処理能力と深層学習能力を有するAI大規模モデルが医療健康分野の変革のカギとなりつつある。7月19日、浙江省・杭州市で開催された2024華夏健康データ・デジタル医学フォーラムにおいて、業界の数多くの専門家や学者が医療分野におけるAI大規模モデルの応用について最先端の議論を行った。浙江大学医学部附属第二病院はフォーラムでAI大規模モデルMedcopilotをリリースし、AI技術が医師の正確で迅速な意思決定をどのようにサポートするのかを示した。

今回浙江大学医学部附属第二病院が発表したAI大規模モデルMedcopilotは、医療診断分野における大規模モデルの革新的な応用である。同病院人工知能・情報化部の相鵬主任によると、Medcopilotは浙江大学コンピュータ学部の大規模モデルの研究・開発に基づいて設計された医師の臨床業務AIアシスタントである。裸眼3Dモデルの起動、検査指標傾向図の自動生成、カルテ記入の注意喚起などの機能を通じて、医師のより迅速かつ正確な意思決定をサポートする。

「医師たちはこれまで日常業務の中で事務処理に多くの時間を費やし、繰り返しの作業に多大なエネルギーを消費してきたが、Medcopilotがあることで、患者との対面コミュニケーションによく多くの時間と精力を注げるようになる。」相鵬主任はそのように語り、このモデルを使用すると、患者の退院文書作成などの細々とした作業の時間が約20分から数分にまで短縮され、60%弱の時間が節約でき、正確率は95%以上に達していると紹介した。

中国のAI有効特許件数が前年同期比40%超増

7月29日、中国国務院新聞弁公室は「高品質発展の促進」をテーマに記者会見を行い、国家知識産権局専利局の葛樹副局長・戦略計画司司長が、技術革新の注目分野として、デジタル経済の革新が非常に活発化していると紹介した。2023年、中国のデジタル経済コア産業の特許登録件数は40万6000件に達し、全体の特許登録件数の約45%を占め、ここ5年の年平均成長率は21%に達した。

2023年末時点で15万5000社の中国企業がデジタル経済関連の特許を保有しており、前年比で3万1000社増加した。特にAI分野ではイノベーションの活力がますます高まっている。2023年末時点で、中国のAI関連の有効特許件数は前年同期比40%超増の37万8000件に達し、成長率は世界平均の1.4倍である。

葛樹副局長、・戦略計画司司長の紹介によると、中国国内でイノベーションの発展に拍車がかかっていると同時に、海外企業も中国でのデジタル経済中核産業の専利レイアウトを持続的に強化している。2023年末時点で、中国では93の国・地域がデジタル経済中核産業の有効特許を保有しており、そのうち61.8%がデジタル製品製造業に属している。

データ知的財産権制度はデジタル経済発展の基礎的な制度である。近年、国家知識権局はデータ知的財産権保護規則の構築を積極的に模索し、デジタル経済の最適化・強化をサポートして、初歩的な成果を上げている。データ知的財産権制度を構築する「四つの充分」の基本原則を提案し、保護対象、保護主体、登録方式、権益内容、保護方式、運用モデルなどの重要な問題をめぐって研究を深め、制度構築の理論的基礎を築いた。同時に全国17の省・市でデータ知的財産権の試行を展開し、データ知的財産権登録証明書を8700件以上発行し、データ知的財産権担保金額は55億元を超えた。

スマート工場にヒューマノイドロボットの新入「社員」

先ごろ、優必選科技（UBTECH Robotics、以下、優必選という）、浙江吉利控股集団（Zhejiang Geely Holding Group Co., Ltd.、以下、吉利という）、天奇自動化工程股分有限公司（Miracle Automation Engineering Co., Ltd.、以下、天奇という）が戦略的提携を結んだ。それぞれの優位性を活かし、自動車及び部品のスマート製造分野におけるヒューマノイドロボットの応用を共同で推進する。

7月初め、吉利傘下の「極氪（ZEEKR）」5Gスマート工場に初のヒューマノイドロボットの新入「社員」が入社し、生産管理物流部の李部長が、優必選工業用ヒューマノイドロボットWalker S Liteに社員証を着用させた。Walker S Liteは、優必選がスマート製造やインテリジェント物流などの分野に向けてリリースした新製品である。これまで、21日連続で「極氪（ZEEKR）」5Gスマート工場でトレーニングを受け、従業員と協力して運搬任務を遂行している。

今年に入り、優必選は自動車、3C（「コンピュータ（Computer）」、「通信（Communication）」、「家電（Consumer Electronics）」）などの製造業の重点分野をターゲットに、ヒューマノイドロボットのツール操作と任務実行の能力を高め、世界中の多くの自動車メーカーと協力して、自動車工場で実地トレーニングを行った。2024年初め、優必選工業用ヒューマノイドロボットWalker S Liteは上海蔚来汽車（Nio）第2先進製造基地の総組立工場で実地トレーニングを受けた。その後、吉利などの企業も優必選と連携し、ヒューマノイドロボットのモデル生産ラインと工場を共同で構築し、典型的な製造シーンで大規模化の応用を実現した。

優必選、吉利と天奇の提携は、ヒューマノイドロボット技術の産業化プロセスを加速するとともに、スマート製造のより高いレベル、より広い分野への発展を推進するだろう。優必選は、AIとヒューマノイドロボット分野の技術的優位性と製品の蓄積を利用し、吉利の電動化とスマート化の変革とアップグレードをサポートする。吉利は、優必選工業用ヒューマノイドロボットWalker S Liteシリーズ及びソリューションに応用シーンを提供し、スマート製造の品質と効果を高める。天奇は、工事実施の優位性を利用し、ヒューマノイドロボットのトレーニングを生産ラインデータの収集、プロセスモデルのR&Dおよびシーン設計の改良などに参与させる。今後、三社は自動車及び部品のスマート製造シーンにおけるヒューマノイドロボットの大規模応用を共同で推進していく。

3週間にわたるトレーニングにおいて、Walker S Liteは語義VSLAMナビゲーション、エンド・ツー・エンド模倣学習、視覚精密識別、全身精密動作制御などの技術を結合し、異なるスタックと組立ラインで自主的にナビゲーションと荷重走行を行い、AGVと協力して作業を完了した。特筆すべきは、スマート製造やスマート物流などの分野の応用ニーズに応え、優必選が人型ロボットアームを自主開発したことである。トポロジー最適化やサイズ最適化などの構造軽量化技術を総合的に活用して、高性能サーボドライブと6軸力覚センサーを搭載することで、Walker S Liteは15キロの箱を運搬しながら安定して歩行することができ、工業分野や物流分野の輸送業務に広く応用されている。

積み卸しと運搬作業はスマート製造とインテリジェント物流の随所に見られ、Walker S Liteの安定した頼もしい作業は、優必選工業用ヒューマノイドロボットの優れた応用潜在力と配置能力を示している。様々なエンドエフェクタを配置することにより、Walker S Liteは運搬、品質検査、SPS選別、化学品処理、組み立てなどの任務を実行することができる。

ENRICHING YOUR IDEAS

北京本部

住 所: 〒100031　中国北京市復興門内大街158号
遠洋大厦10階
Tel: +86-10-6641-2345
Fax: +86-10-6641-5678/6641-3211
Email: mail@ccpit-patent.com.cn

東京オフィス

住 所 : 〒100-0004　日本東京都千代田区
大手町二丁目2番1号新大手町ビル2階265区
Tel: +81-3-6262-6643
Fax: +81-3-6262-6645
Email: tokyo@ccpit-patent.com.cn

ニューヨークオフィス

住 所 : 1350 Avenue of the Americas,
Suite 1710 New York, NY 10019 U.S.A.
Tel: +1-212-868-2066
Fax: +1-646-838-5151
Email: newyork@ccpit-patent.com.cn

マドリードオフィス

住 所: Calle del Principe de vergara 13, 5°D,
28001, Madrid, Spain
Tel: +34-910-66-3553
Email: madrid@ccpit-patent.com.cn

香港オフィス

住 所: 香港湾仔港湾道一号
会展広場ビル34号09室
Tel: +852-2523-1833
Fax: +852-2523-1338
Email: hongkong@ccpit-patent.com.cn

上海オフィス

住 所: 上海市静安区威海路567号
晶采世紀大厦18階
Tel: +86-21-6288-8686
Fax: +86-21-6288-3622
Email: shanghai@ccpit-patent.com.cn

広州オフィス

住 所: 広東省広州市天河区天河北路233号
中信広場11階1112－1113室
Tel: +86-20-3877-0278
Fax: +86-20-3877-0297
Email: guangzhou@ccpit-patent.com.cn

深圳オフィス

住 所: 深圳市福田区福華三路186号
国際商会センター1601
Tel : +86-755-3298-9252
Email: shenzhen@ccpit-patent.com.cn

武漢オフィス

住 所: 湖北省武漢市洪山区関山大道473号
光谷新発展国際センターB棟5階 06-116
Tel: +86-27-8720-0400
Email: wuhan@ccpit-patent.com.cn